

郡上地域 STOP! 転倒災害プロジェクトを展開中です!

平成29年11月1日～平成30年3月31日



冬は

転倒に注意!!

STOP! 転倒災害プロジェクト

2月・6月は重点取組期間です!!

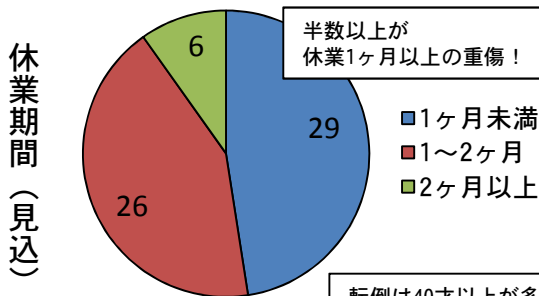
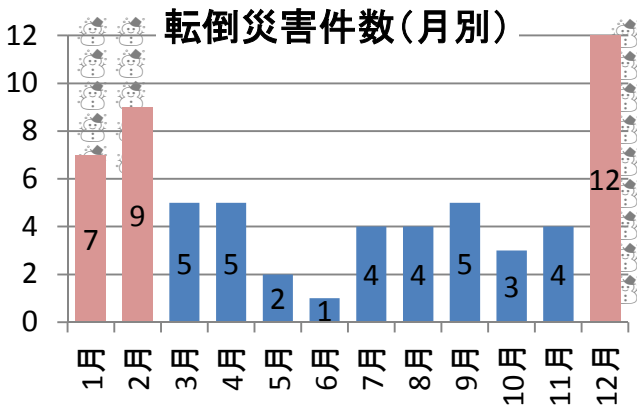
STOP! 転倒

検索

冬期間は転倒災害が増加しています!

転倒災害は1年を通して発生していますが、特に冬シーズン(12月～2月)に多く発生しています。郡上市内の冬は低温・雪の日が多いため、積雪、路面凍結による転倒災害が増加しています。

冬シーズン前から転倒危険箇所を確認し、対策を検討しておきましょう。



転倒は40才以上が多い!

年齢層別	件数
20才未満	1
20～29才	1
30～39才	7
40～49才	13
50～60才	17
60才以上	22

※岐阜八幡労働基準監督署管内の転倒災害(H24年～H28年、休業4日以上、全業種)

滑らない対策を!

転倒のきっかけのほとんどは「足元が滑る」「足に物が引っかかる」です。根本的に滑らないようにして転倒災害を防止しましょう。

▶足のサイズにあった滑りにくい靴



携帯用かんじきの例

水・油用の耐滑靴も、雪や氷の上では滑ることがあります!

▶除雪・融雪するためのマット



ヒートマットの設置例

建物の入口には、マットやブラシを備え付けて、雪や水分を取り除きましょう!

危険箇所に表示を!

玄関や屋外は積雪や凍結が避けられない時があります。危険箇所を表示すれば労働者にわかりやすいだけでなく、来客や利用者にも注意喚起が出来ます。

危険表示の例→



※ステッカーは、「STOP! 転倒災害プロジェクト」のホームページからもダウンロードできます。



岐阜八幡労働基準監督署

チェックリストを作りましょう！

チェック項目	
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか <input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか <input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか <input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか <input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでありますか <input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか <input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていますか <input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか <input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか <input type="checkbox"/>

こんな災害が発生しています！

発生日	災害の概要	休業期間（見込）
12月	徒歩で移動中、雪で凍結した路面で転倒し、手をついたため手首を脱臼した。	1ヶ月
1月	配達作業中、配達先の入口にあった鉄板のスロープで足を滑らせて転倒し、大腿骨の付け根を骨折した。	1ヶ月
2月	当日の勤務終了後、通勤用バスに向かう途中に凍結面で足がもつれて転倒し、グレーチングで頭を打った。	3週
2月	移動のため車両を運転し、車両を駐めて徒歩で移動中、凍結した路面で転倒し、肩の腱板を損傷した。なお、痛みがあるまま就業を続けたが、痛みが治まらないため約1ヶ月後受診して症状が判明した。	1ヶ月
2月	スキー場へ商品を配達していたところ、路面が凍結しており、凍った雪の段差に足を滑らせて転倒し、足首を骨折した。	1ヶ月

冬シーズン特有の作業にも危険があります！

屋根除雪中の墜落災害



予防策!!

- ▶ 2人以上で作業を行うこと
- ▶ 安全帯の取付け設備の設置
- ▶ 保護帽・安全帯の着用
- ▶ 作業計画を策定する

など

除雪車・除雪機による はさまれ・巻き込まれ災害



予防策!!

- ▶ 機械の故障・点検時にはエンジンを停止する
- ▶ 運転時には周囲の確認を徹底する
- ▶ 作業範囲内への立ち入り禁止

など

ストーブ・コンロ使用中の 一酸化炭素中毒



予防策!!

- ▶ こまめな換気
- ▶ 燃焼状態の確認
- ▶ ガス機器の手入れ

など